

溶連菌とは、正式には「溶血性レンサ球菌」とよばれる細菌の一種で、この細菌により発症する病気を溶連菌感染症といいます。

小児科外来では毎日のように遭遇するポピュラーな感染症で、いずれの年齢でも起こりますが、学童期の小児のどの風邪として最も多くみられる病気です。とはいえ、3歳以下の子どもや成人では典型的な症状を示さないこともよくあります。

溶連菌と人類がいつから関わりを持つようになったか定かではありませんが、19世紀後半に米国で書かれた『若草物語』や『大草原の小さな家』でも恐ろしい病気として取り扱われています。しかし、インフルエンザや天然痘のように大流行したという記録は残っていません。

感染時の症状は、菌が侵入、増殖する部位によって異なり、のどなら「咽頭炎」に、皮膚なら「とびひ」に、肺なら「肺炎」になります。以前、メディアでとりあげられた「人食いバクテリア」は、溶連菌感染症の劇症型で、急な発熱と共に手足の痛みや腫れが生じ、数十時間後には手足が壊死し、さまざまな臓器の機能障害からショック状態となって、約30%が死に至ると報じられています。

感染経路は、のどに付着している菌が、咳やくしゃみによって伝播する飛まつ感染が主です。健康な人の20%程度は、普段から溶連菌がのどに存在していますが（無症状保菌者）、症状がない場合は原則、治療の必要はありません。普通、感染してから発症までの期間は2～5日です。

溶連菌感染でおこる咽頭炎（のどの風邪）では、発熱、のどの痛み、嘔気、嘔吐などの症状がでます。その後、舌がぼつぼつとイチゴのように赤く腫れたり（いちご舌）、たまには全身に発疹がでたりすることもあります。回復期には

皮膚が日焼け後のようにむけたりもします。

病院では、症状から溶連菌を疑った場合、綿棒でのどの奥をこすって、菌が付着しているか調べます。結果は30分以内にでますので、診断がつき次第抗生剤の内服治療を始めます。7～10日間とやや長めの処方になりますが、途中で止めず、しっかり飲みきることが大切です。これは、急性期の症状を緩和するためだけでなく、合併症の予防という面からも重要です。また、溶連菌感染症が他の風邪と異なるのは、重篤な合併症をきたすことがある点です。その1つが溶連菌感染後急性糸球体腎炎と呼ばれる尿を作る腎臓に起きる合併症で、感染後2～3週して血尿や体のむくみ、尿量減少などとしてあらわれます。そのため、急性期の症状から回復した後の尿検査は欠かせません。他の合併症として、心臓に炎症をおこすリウマチ熱や、皮膚の出血斑や腹痛、関節痛をおこすアレルギー性紫斑病などがあります。幸い、最近では早期診断と効果的な抗生剤の服用により、これらの合併症の発生頻度が減少しています。

溶連菌感染は、治療を途中で中止したり、溶連菌の型の違い、周囲の保菌者からうつされたりして、同一の人が繰り返しかかることがあります。溶連菌感染症には予防接種がないため、予防には他の感染症と同様、手洗い、うがい、マスクの着用が大切です。

溶連菌感染症は学校安全保健法で、出席停止となる感染症です。抗生剤を飲み始めてから24時間で感染力が極めて低くなることから、病院受診日とその翌日は学校や園をお休みします。その後、熱も下がって全身状態が良ければ登園・登校可能です。ウイルスによる風邪の中に溶連菌が紛れている可能性があります。咳が目立たず、発熱やのどの痛みが強い風邪の時には、病院を受診しましょう。

4月の休日当番医

診療時間：午前10時～午後4時

当番医は変更になる場合がありますので、必ず確認してからお出かけください。この時間以外の診療は、志木消防署☎(472)0119へお問い合わせください。

日	場所	施設名	科目	電話	場所	施設名	科目	電話
2日	志木	岩崎小児科医院	小・内・皮	(474)7474	和光	大森耳鼻咽喉科医院	耳	(467)3314
9日	新座	くりはら内科クリニック	内・消内・循内	042(438)6606	朝霞	青柳診療所	内・消内	(465)5077
16日	和光	和光小児科クリニック	小・内	(467)1108	朝霞	はまなか皮フ科クリニック	皮・アレ	(476)1223
23日	新座	橋本内科クリニック	内・小・循内	(481)2626	志木	眼科龍雲堂医院	眼	(471)0200
29(土)	朝霞	富岡医院	内・循内・小	(461)7581	新座	新座むさし野クリニック	内・アレ・循内	(489)5323
30日	朝霞	石原クリニック	消内(胃内)・内	(486)1890	朝霞	伊藤耳鼻科クリニック	耳	(486)0087

◆休日歯科応急診療所◆(新座市保健センター内)
4月29日(土)、5月3日(水)～5日(金) 午前9時～11時30分
問合せ/☎(481)2211

◆大人の救急電話相談◆ #7000
月～土曜日 午後6時30分～10時30分
日曜日、祝休日、年末年始 午前9時～午後10時30分
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合
☎048(824)4199

◆救急医療お問い合わせ◆(歯科案内と医療相談を除く)
埼玉県救急医療情報センター ☎048(824)4199

◆小児救急電話相談◆ #8000
月～土曜日 午後7時～翌日午前7時
日曜日、祝休日 午前7時～翌日午前7時
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合
☎048(833)7911